

小野運送店

千葉で危険物・一般品倉庫を計画

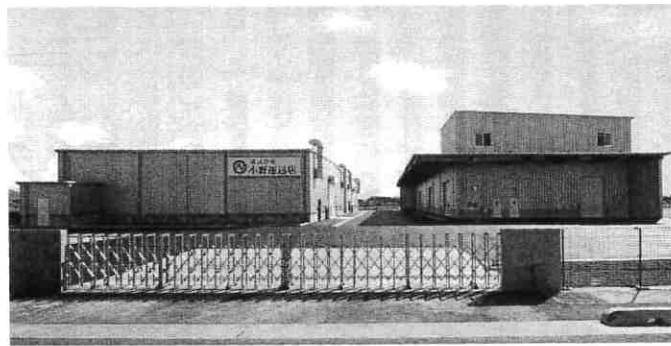
栃木でも危険物倉庫の増床検討

小野運送店（本社・東京都品川区、小野正彦社長）は2021年3月をメドに、千葉県東金市に危険物倉庫と一般品倉庫を備えた「千葉営業所九十九里倉庫」（仮称）を開設する。今年2月に、約5000㎡の建設用地を取得し、現在は設計段階にある。場所は既存の「千葉営業所」（九十九里町）近接地で、

外部倉庫で行っていた危険物の保管業務を内製化するとともに、一般品と危険物を同一拠点で扱える強みを活かして、新たな貨物も取り込みたい考え。新拠点では倉庫面積500㎡

（庇部分除く）の危険物倉庫3棟と、同650㎡の一般品倉庫1棟の計4棟を建設。危険物倉庫は消防法第4類第1〜第4石油類を扱い、うち1棟はアルコール類の保管にも対応させる予定。危険物倉庫2棟には、外部倉庫で行っていた大手塗料メーカーの製品および原材料の保管業務を移管する。

4棟とも5mの庇を備え、荷降ろし作業の品質と効率を高めるとともに従業員の仕事負担を軽減。倉庫は危険物・一般品とも低床平屋で庫内も平置きを想定し、多様な似姿の貨物に柔軟



14年に新設した埼玉営業所

に対応したいという。

千葉県全域へ配送する在庫拠点としての活用を見込むが、東金インターチェンジから圏央道と千葉東金道路に經由すれば関

東一円および各高速道路へのアクセスも良好。東京港から輸入された貨物の取扱いも想定され、敷地内にはデバンニング作業スペースも確保する計画にある。

同社では昨年8月に市貝営業所（栃木県市貝市）で危険物倉庫約600㎡、一般品倉庫約1000㎡を増床し、既に満床となっていることから、同営業所でも新たに用地を取得して危険物倉庫などを増設する方針。同

月には神奈川営業所でも賃貸で利用していた土地2500㎡と危険物倉庫400㎡、一般品倉庫100㎡を取得。また、14年には埼玉営業所（埼玉県白岡市）として500㎡の危険物倉庫2棟と一般品倉庫600㎡を新設したが、こちらもすぐに満床となり、現在は外部倉庫1600㎡を利用しているという。「トラックの確保が難しくなる中、配送効率の悪い地域に在

庫を持ちたいというニーズは強く、とくに地方の危険物倉庫への需要は増している」と北原洋志・執行役員運輸営業部部长は説明する。その上で、「当社は自社の輸配送ネットワークを持つため、インターチェンジの近くなど人気のある場所に限らず、幅広い倉庫用地の候補から立地を選ぶことができ、お客様への提案力につなげられることが強み」と話す。